



板倉勝静 (1823 ~ 1889)

「世子の君は文武をこ研精なされ、敬服してあります。学問としては、前学頭奥田楽山が『名臣言行録』を、私は『資治通鑑綱目』を用い、隔日に会読してあります。唐の時代の過半はお済みになりました。時には卓越な議論もありました。作詩はことに上手で五

言、七言の長編詩もお出来になり感心いたします。文学はご家中に及ぶ者はないと思います。武術も毎日なされ、弓術と馬術は拔群のご上達です。寒中でも炬燵へ寄られず、これまで夏の昼寝と冬の暖炉はしないとのこと。桑名侯の厳しい家風が分かりま

った時、藩政改革には方谷が必要だと考える心がつけられていきました。弘化2(1845)年には世子は藩内の実状を知るために巡視して廻り、方谷はお供をしています。故郷を通る時、殿の傍らで偉そうに見られているのではと、昔の仲間の気持ちを思いやる詩を読んでいます。弘化4(1847)年には、長年の心労がこたえた妻の進が、心を病んで新見の実家に帰りました。その時の方谷の苦衷が分かる手紙が残っています。

「資治通鑑綱目」は司馬光が著した歴史書、「資治通鑑」の中から、朱子が重要な事柄を選んで書いたものです。唐・宋の歴史を学び議論することによって、君主としてのあり方を共に考えています。特に唐の徳宗(人を正しく見ず、いさめる賢臣を追い出し、おもねる家臣を重んじて政治が乱れ、臣下の反抗を招いて、一時国外に逃亡した君主)について、その失政を論じた世子の徳宗論の写しを方谷は求めました。世子が「何のために欲しいのか」と聞くと、方谷は「将来、殿が我欲で良くない言行をなさった時にお諫めする証拠にしたいと思います」と答えると、理解されて貰い受けています。このような教育を通して、至誠惻怛(誠をつくし、人を思いやる心)を教えています。のち世子が藩主にな

アヘン戦争(中国がイギリスに敗れて屈服した)などの情報から、方谷は西洋式銃砲や、軍制改革の必要を痛感しました。津山の天野直人が江戸で学んで帰ったのを聞くと、牛籠舎の塾生であった三島中洲を連れて一カ月、津山の本源寺に宿し、昼は砲や戦術を学び、夜は津山藩士の有志者に古本大

と、この抜擢に反発し、「学者が御勝手(財政)、藩運営が出来るものか」と、江戸の藩邸では次の狂歌二首が広がりしました。

山だし(山田氏)が何のお役にたつものか  
へ(子)の日はくのような元締  
御勝手に孔子孟子を引き入れて  
なほこのうへに空(唐)にするのか  
こんな空気の中で財政改革が始まるのです。

### 世子勝静を指導する

山田方谷は有終館と牛籠舎で教育に専念していました。40歳になって、藩主勝職の世子(次期藩主)の教育をも任されることになったのです。この時、世子は22歳。桑名藩主松平定永の第8子、寛政の改革を行った松平定信の孫・松平寧八郎で、5年後に藩主勝静となります。

「資治通鑑綱目」は司馬光が著した歴史書、「資治通鑑」の中から、朱子が重要な事柄を選んで書いたものです。唐・宋の歴史を学び議論することによって、君主としてのあり方を共に考えています。特に唐の徳宗(人を正しく見ず、いさめる賢臣を追い出し、おもねる家臣を重んじて政治が乱れ、臣下の反抗を招いて、一時国外に逃亡した君主)について、その失政を論じた世子の徳宗論の写しを方谷は求めました。世子が「何のために欲しいのか」と聞くと、方谷は「将来、殿が我欲で良くない言行をなさった時にお諫めする証拠にしたいと思います」と答えると、理解されて貰い受けています。このような教育を通して、至誠惻怛(誠をつくし、人を思いやる心)を教えています。のち世子が藩主にな

# 山田方谷を語る 六



山田方谷手植えの松・有終館跡

## 吉備国際大学 公開講座のご案内

学園だより



吉備国際大学、吉備国際大学短期大学部、順正高等看護福祉専門学校では、今年もたくさんの新入生を迎えることができました。今年度も順正学園の取り組みを紹介し、地域の皆さまと共に歩むことができればと考えています。

下記のとおり、吉備国際大学公開講座を開催しますので、地域の皆さまの参加を心よりお待ちしております。

開催日時	演題	講師	会場
5月24日(土) 午前9時30分～午後6時 ※締め切り:5月19日(月)	【大原美術館の名画と大原美術館を取り巻く近代建築に潜む謎に迫る】 ※バス・昼食・入館料含む6000円	外国語学部 小西伸彦 准教授	大学 14506 教室 (14号館) 大原美術館・周辺建物 (倉敷市) 定員: 20人
6月21日(土) 午後1時～午後3時	【高梁の絵画-鎌倉時代から現代まで-】 (受講料無料)	文化財学部 守安 收 教授	大学 14506 教室 (14号館) 定員: 20人
7月5日(土) 午後1時～午後3時	【癒しの足もみ健康法】 (受講料無料)	短期大学部 田坪 由香里 講師	大学 14506 教室 (14号館) 定員: 20人

### ◆申込方法

開催日の1週間前までに、電話・ファクスで受講をお申し込みください。

※電話の受付時間は平日の午前9時30分～午後5時

※ファクスの場合は、①氏名・ふりがな、②年齢、③郵便番号・住所、④電話番号、⑤受講希望講座名を記入してください。

※受付は先着順です。定員になり次第、締め切りますのでお早目にお申し込みください。

☆上記の他にも、岡山県生涯学習大学(8月～9月開講)、市民講座(9月～10月開講)ほか、11月までさまざまな講座を予定しています。

※今後の講座開催については、ホームページ(<http://kiui.jp/pc/>)でお知らせしていきます。

■問い合わせ・申し込み 吉備国際大学庶務課 ☎227404、FAX 227560

## 成羽病院通信

■問い合わせ ☎423111

### 「晴れやかネット」が利用できるようになりました

成羽病院・院長 紙谷 晋吾

今回は医療ネットワーク岡山協議会が運営する「晴れやかネット」を紹介します。

ITの進歩には目をみはるものがあります。5月1日から成羽病院でも、念願であった電子カルテの運用が始まり、カルテや多くの検査データがパソコン上で管理できるようになりました。この電子カルテの導入で、県内の各医療機関と連携し相互に情報共有が行える「晴れやかネット」への参加が可能となりました。

「晴れやかネット」は、それぞれの病院や診療所で得られた患者さんの医療情報(例えば、CTやMRIなどの検査データ、採血データ、手術結果、治療経過など)を、患者さんの同意のもと、セキュリティーの保証されたインターネット回線を通じて共有することができるシステムで、県内約450の病院や診療所が参加しています。

「晴れやかネット」に参加することにより、患者さん一人一人の医療情報を、各医療機関が相互に共有できるため、他の医療機関へ転院される場合でも、切れ目のない治療を行うことができます。

複数の医療機関で受診している人で、自分の検査や治療データなどの医療情報の共有に同意される人は、かかりつけの医師や病院の主治医にご相談ください。

